

碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
神奈川 碩 心 会 発行

15年3月現在 葉山地区 逗子・大船地区 (合計)	会員数 163名 135名 298名)	15年3月 (358号) 発行者 加藤 岳 洵 編集者 磯村 岳 朋 鎌倉市浄明寺1-6-24 TEL・FAX 0467-25-1850
------------------------------------	------------------------------	--

行事予定

- 高段者審査会
日時・4月5日(土)
会場・横浜磯子公会堂
- 第36回逗子市詩吟詩舞連盟春期発表大会
日時・5月4日(日) 9時40分開会
会場・図書館ホール
- 碩心会総会
日時・6月1日(日) 13時
会場・図書館講座室
- 第12回神奈川地区青少年吟道大会
日時・6月8日(日)
会場・地球市民かながわプラザ
- 碩心会温習会
日時・6月15日(日) 9時受付
会場・図書館ホール
出吟料・1000円
- 第11回神奈川地区吟道大会
日時・6月22日(日)
会場・相模原市民会館
出吟料・1000円
- 碩心会夏期吟道講座
日時・7月13日(日)
会場・図書館ホール

お知らせ

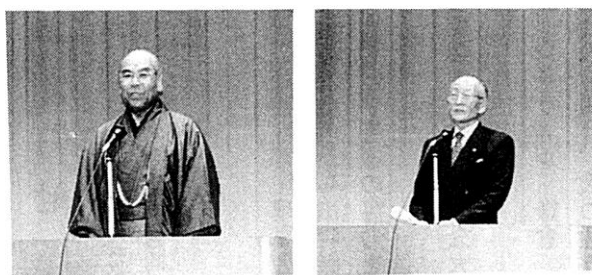
- 6月15日碩心会温習会終了後、「神奈川地区大会」出吟者の男女合吟「勸学」の練習を致します。
- 去る2月17日常任理事会に於いて「第24回碩心会温習会」から出吟料を徴収することに成りました。皆様の協力をお願い致します。
- 佳香会創立30周年記念大会
日程―5月18日(日)
場所―レイウエル・鎌倉
碩心会の吟題は、次の通りです。
葉山男子合吟「自訟」
葉山女子合吟「常磐孤を抱くの図に題す」
逗子男子合吟「大楠公」
逗子女子合吟「九月十三夜」
以上4題です。



平成15年「碩心会初吟会」収支報告書

収 入 の 部		支 出 の 部	
摘 要	金 額	摘 要	金 額
会 費		レイウエル鎌倉 支払分	552,205円
4,000円×163名	652,000円	弁当代	195,600円
		飲み物代	88,200円
		料 理	179,300円
指講会より	27,696円	カラオケ・奉仕料	52,810円
		消費税	26,295円
寄付 鹿嶋岳久先生	5,000円	持込み料	10,000円
		お 酒	3,000円
立平岳昇先生 清酒		会 場 費	31,900円
新総伝者 清酒		参 加 費	17,850円
故舟渡岳船 清酒		事務費・会議費	63,541円
矢嶋岳悦 清酒		お礼（尺八、模造紙）	7,000円
		お車代（招待者）	9,200円
収 入 合 計	684,696円	支 出 合 計	684,696円

企画部長 田中明岳



ご来賓の

神奈川県本部長 立平岳昇先生（右）

同 副本部長 鹿嶋岳久先生（左）



初吟会で挨拶される加藤岳洵会長

平成癸未 正月

許証獄風會総傳位有感 宇都宮岳徳作

幸慶今春賜総傳 呻吟荏苒廿餘年

無功未熟甚慙愧 惟以高齡得勝縁

(読み方)

幸慶こうけいなり今春こうしん総傳そうでんを賜りて

呻吟しんぎん荏苒じんぜんとして廿余年じじゅうねん

功こう無く未熟みじやくにして甚だ慙愧ざんきするも

惟おもうに高齡こうれいなるを以て勝縁しょうえんを得たりと

(語釈)

○幸慶(こうけい)―しあわせ。幸福。喜び。

○呻吟(しんぎん)―うめく。うたう。

○荏苒(じんぜん)―歳月が長びくさま。の

びのびになること。時がゆるゆるすすむこと。

○慙愧(ざんき)―はじること。

○高齡(こうれい)―年をとっている。老年。

○勝縁(しょうえん)―すぐれた因縁。すぐれた巡り合い。

滝の坂支部の創設者

佐久間溪岳先生の二十三回忌に寄す

滝の坂 上村 岳章

昨年12月1日(日)、私達の恩師で滝の坂支部の創設者であり、佐久間溪岳先生のご主人である佐久間溪岳先生の二十三回忌が行われました。

当日は親戚縁者に、創設当時よりの門人数名が参列し、猿島山法性寺にて法要、読経のあと故人の愛した「半夜」と「月下独酌」を献吟いたしました。その吟声は音響効果のよい本堂内に響き渡りました。

法話の中で上人は、「こんな素晴らしい法要は初めて経験させていただきました」と感想を述べられました。

献吟の際コンダクターを使用してリードいたしましたのをお上人が見られて、あとで話題になりました。僧侶が大勢で上げる読経の際にも、音の高さを鈴の音で決めているとのこと、読経も鳴り物を利用して始末て知りました。現在大会などの場合、尺八でリードして頂くと安心して吟じられることを思い合わせ、一層の必要性を感じた次第で

あります。

当日は私の発案のもと、呼びかけに快く進んで、出席していただきました滝の坂支部の皆様にご感謝申し上げます。

碩心会 真澄支部に入門して

真澄 吉原 益己

思い起しますと、以前テレビ、ラジオ等で、名人の朗吟を聞き、感銘を受け以後詩吟を聞く事が好きになりました。そんな時「私も詩を吟ずる事が出来たら」と思ったものでした。長い年月を過ぎ知人から詩吟の同好会のあることを聞き、この会を紹介して頂き一昨年入門をしました。

会はずばらしい先生を始め会員の方々も皆立派な有段者の集りの会でした。何もわからず軽い考えで飛びこんだ私は、声はもちろん手も足も出ない感じでした。しばらく聞かせて頂くことにして三ヶ月、半年、一年と過ぎ会員の皆様の暖かい御指導のもとになら抵抗もなく染じむことが出来今日に至りました。これも一重に先生、諸先輩方の思いやりと深く感謝しております。これからも吟道精神のもと少しでも皆様に近づくよう努力し、肉

的にも精神的にも、活力と中和の人徳を養い
精進したいと思います。

雑感

先頃、新聞のコラムで私立大学の入試から
「漢文」が減っている、という記事を目にし
た。少子化で受験生の確保が深刻な課題にな
り、受験の負担を減らして志願者を増やす動
きの中で、真っ先にリストラ対象になったと
いう。高校の国語教師からは「漢文は日本語
文化の根幹なのに」と嘆く声が聞こえる。

ことわざや格言、私たちの学ぶ詩吟などで、
漢文がもたっているものは多い。高校生
が言語のルーツに関心を持たなくなると心配
する向きもある。

閑話休題、昨年十二月十五日、逗子大船地
区温習会で、ちびっ子剣士ならぬちびっ子吟
士・広瀬優作君が、おじいちゃん、おばあ
ちゃん、お父さん、お母さんたちの熱い視線
を受けて、元気に堂々と上杉謙信の「九月十
三夜」を見事吟じきった。広瀬春岳先生のお
孫さんと聞く。家庭環境の中からも育つ土壤
のあることを知る。

また、前号の本紙で紹介した「葉山ふれあ

い講座」に講師として当会から加藤岳洵会長
はじめ六名の先生方が参加された。葉山中学
校長広瀬泰男様からの依頼によるもので詩
吟に関する講話や吟詠を披露された。「漢詩
を吟ずるとは思わなかった。大きく迫力のあ
る声でとてもびっくりしました。」率直な感
想が返ってくる。本校生徒の体験学習に温か
いご指導を頂き感激したとの校長の弁。今後
も地域文化向上の一環としてこのような形で
詩吟の普及が出来たらと願うひとりである。

(収岳)

短歌

一色 岸 本 里 風

茜空の下に横たふ厚き雲

漸く真紅の太陽を生む

はるばるとさし来し潮に川波の

おだしき横縞溯りゆく

何気なき言葉に人を笑はせし

夫なつかしみ仰ぐ星空

俳句

堀内 五十嵐 瑠璃子

寒茜母の骨壺かさど鳴り

冬の霜箱根路あえぎ登るバス

藪つばき袈裟掛けの松天をつく

入会(2月1日)

402 今井重雄 横浜市旭区笹野台一・一八・三四

(滝の坂) ☎〇四五・三六三・五八二一

紹介者 行谷隆風

403 酒井芳徳 鎌倉市岡本二二四一・四

A棟二〇三

(滝の坂) ☎〇四六七・四四・二二〇九

紹介者 行谷隆風

入会(2月14日)

404 簡野高道 大田区本羽田一・五 二二

(滝の坂) ☎〇三・三七四・二四〇四七

紹介者 行谷隆風

退会(1月25日)

52 寺脇宇岳(唐木山) 105 川口喜岳(一色)

退会(2月1日)

51 西岡岳江(堀内E) 329 小松ナヲ子(堀内E)

348 山口茂(堀内E)

退会(2月10日)

401 阿部理恵(幸和)

退会(2月20日)

210 三木好風(長柄) 281 井上哲山(長柄)

退会(3月5日)

368 森川正道(東伏見)

氏名変更

305 中村節子→小谷田彩加(東伏見)